

# 「人権尊重社会を」

## めざす県民運動「事業」

# 第13回

# 秩父郡市

# 人権フェスティバル

期日 10月30日(火)  
場所 秩父ミュージズパーク音楽堂  
秩父市田村1377

主催 秩父郡市人権教育・啓発推進連絡会議  
後援 秩父郡市内市町村・教育委員会

入場料 無料  
問合せ 総務課行政担当

電話 25-10000  
電話 62-1231

## ステージプログラム

- 12:30 開場
- 13:30 開演  
オープニングイベント  
社会福祉法人清心会さやか  
「郷土芸能クラブ」「音楽クラブ」
- 14:20 講演  
「出会いの人生から学んだこと」  
講師 菊地幸夫弁護士  
日本テレビ  
「行列のできる法律相談所」、  
「爽快情報バラエティースッキリ!!」  
にレギュラー出演。
- 16:00 終演

## ホワイエ

- ・社会福祉法人清心会さやか 物品販売
- ・秩父農工科学高等学校 生産物の販売
- ・人権啓発物品の配布

# 人権作文

## 「高齢化社会問題」

### に想う」

皆野中学校二年

桜沢 真斗<sup>まさと</sup>くん

今、私は祖父と一緒に暮らしています。家の周りでも、たくさんのお年寄りの姿が見られます。その中にはお年寄りだけで生活している家も数軒あるそうです。

何年前の朝、救急車が近所のおじいさんと、おばあさんだけで暮らす家の前に止まりました。家の中から、おばあさんがタオル一枚の姿で担架に乗せられて出て来ました。おばあさんは前日の夜、お風呂から出た後に倒れ、そのままの状態で一晩が過ぎてしまったそうです。先に寝ていたおじいさんが朝になって気づき、救急車を呼んだそうです。おばあさんは数日後に帰らぬ人となってしまうました。その時のおじいさんは気が動転して、言葉を発することさえ出来ませんでした。残った

おじいさんは、しばらくの間一人で生活していましたが、その後老人ホームに移り、三か月後におばあさんの後を追うように亡くなってしまいました。おじいさんの住んでいた家も取り壊され、更地となってしまう、突然の出来事に私はとても悲しい思いをしました。なぜなら、私はこのおじいさんとおばあさんがとても好きだったからです。私がおじいさんとおばあさんに連れて、このおじいさんとおばあさんの家によく遊びに行きました。おばあさんから、「いい子だね。よく来たね。」と、お菓子やジュースをもらいました。時には絵や習字を見せに行き、「上手に書けたね。いい字だね。」と、ほめられるのがうれしくて、何回も何回も書いては見せに行ったものでした。

そんなある日、おばあさんが一言「おじいさんは何も出来ないから、私がいなくなったら困るのよ。」と、話していたような気がしましたが、小さかった私には意味がわかりませんでした。今思えばお年寄りだけの生活がとても寂しく、将来的にもとても不安があったのだと考えさせられました。おばあさんから出されてきたサインを感じ取るものが出来ていればと、また何か私に出来ることがあったのではないかと、無念に思えてなりません。これが、ますます進んでいく高齢化社会問題の現実だとしたら、とても悲しいことです。現在、高齢化社会・かく家族・少子化などたくさん問題があります。私達が今出来ることはほんの小さなことですが、地域の人と協力することで、人と人とのつながりを築くことが一番大切ではないかと思えます。昨年の震災では「絆」という言葉が多くの人々に感動を与えました。人間が本来持つ助け合いの心と、やさしさを目の当たりにした私は行動のきっかけと、実行の勇気を授けられたような気がします。今までお年寄りに温かい目で見守られて、ここまで大きく育ちました。これからは、私達がお年寄りを温かい目で見守り、私達がしてもらった以上に恩返し出来たらと思います。悲しい出来事を繰り返さないように。